

第1日 13日(月)	10:30 開 会 式 [会 場] 人間文化創成科学研究科棟6階大会議室
	13:00 日本文化部会 [会 場] 人間文化創成科学研究科棟6階大会議室 John Breen (SOAS准教授) 「「神都」としての近代伊勢」 David Labus (カレル大学准教授) 「政治、倫理と学問の関連性—幕末、明治初期を中心として」 具知會 (淑明女子大学校院生) 「大奥の老女の性格」 James Russell (SOAS院生) 「文化的景観は何のこと? 文化財と世界遺産石見銀山遺跡」 染井千佳 (本学院生) 「日本古代における武官の武芸」 徐興慶 (台湾大学教授) 「日中文化交流の伝播と影響: 徳川初期の独立禅師を中心に」 高島元洋 (本学教授) 「日本儒教の多様性」 徳重公美 (本学院生) 「荻生徂徠における「道」」
	18:00 交 流 会 <参加無料> [会 場] マルシェ大ホール
第2日 14日(火)	10:00 日本語学・日本語教育学部会 [会 場] 文教育学部1号館1階大会議室 李徳奉 (同徳女子大学校教授) 「和・思いやり・ホスピタリティの日本語教育」 張栄花 (同徳女子大学校院生) 「生涯教育としての日本語教育の現状分析および改善方案—ソウル市の老人福祉館を中心として—」 房賢嬉 (本学院生) 「持続可能性音声教育を目指すピア・モニタリング活動の可能性—対話を媒介とした言語生態の保全・育成を通して—」 中島晶子 (パリ第7大学准教授) 「変わる日本語・新しい日本語」 陳俊宏 (台湾大学院生) 「命題要素のモダリティ化—「さっさと」を例に—」 田嶋明日香 (本学院生) 「和英辞典の収録語についての研究」 朴海煥 (淑明女子大学校副教授) 「韓国の日本語学研究の今後の方向性」
	10:40 日本文学部会 [会 場] 人間文化創成科学研究科棟6階大会議室 張龍妹 (北京外国語大学教授) 「紫上の継母物語をめぐって」 陳 晨 (北京外国語大学院生) 「今昔物語集震旦部の方法—后妃説話をめぐって」 黄毓倫 (台湾大学院生) 「宮沢賢治の童話「セロ弾きのゴーシュ」における音楽的な一考察—ベートーヴェンの交響曲第六番「田園」と第九番「合唱」の精神—」 金夏娟 (本学院生) 「尾崎翠「歩行」論」 Isabelle Lavelle (パリ第7大学院生) 「太宰治の『ポオズ』—道化とダンディズムをめぐって」 Tomas Jurkovic (カレル大学院生) 「村上春樹の小説の女性登場人物を一種の象徴として読めるか?」
	15:30 全 体 会 [会 場] 人間文化創成科学研究科棟6階大会議室 (終了予定:17:00)

第5回

国際日本学 コンソーシアム —「日本」とは何か—

2010年12月13日(月)・14日(火)

コンソーシアム参加校

ロンドン大学東洋アフリカ研究院SOAS(英国)、国立台湾大学(台湾)
カレル大学(チェコ)、淑明女子大学校(韓国)、同徳女子大学校(韓国)
北京外国語大学北京日本学研究中心(中国)、パリ第7大学(仏国)
パデュー大学(米国)、お茶の水女子大学(日本)

国際日本学コンソーシアムは、世界の日本学研究の拠点である8大学から教員および大学院生を迎えて、国際的・学際的なジョイントゼミを行い、日本学研究および教育の世界的ネットワークを構築するものです。みなさまのご参加をお待ちしています。

[主 催] 比較日本学教育研究センター

「女性リーダーを創出する国際拠点の形成」プログラム

[会 場] お茶の水女子大学 (〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1)